

演者略歴



吉川徹（よしかわ とおる）

- 職業感染制御研究会 副代表
- 公益財団法人労働科学研究所・副所長
- 同・国際協力センター・センター長

1996年 産業医科大学医学部卒業、東京都立墨東病院・臨床研修医(内科、救命、麻酔、小児)

1998年 東京都立駒込病院・内科専門臨床研修医(感染症科・呼吸器内科)

2000年 労働科学研究所研究部/教育国際協力部・研究員(2005年まで)

2004年 バージニア大学医学部/国際医療従事者安全センター・研究員

2004年 ジョンズ・ホプキンス大学「損傷予防の理論と実践」コース修了

2005年 労働科学研究所研究部/国際協力センター・主任研究員(～2007年)

2006年 同 研究部/国際協力センター・センター長代理(～2007年)

2007年 同 研究部/疲労労働生活研究G・グループ長(～2012年)

2007年 同 副所長、国際協力センター・センター長

2012年 同 研究部/働く人の多様性研究G・主任研究員

現在に至る

2000年に財団法人労働科学研究所に入所後、人間工学分野の研究に取り組む。2004年留学し、バージニア大学国際医療従事者安全センターで医療従事者の針刺し切創に関する日米比較研究を行なう。留学中にジョンズ・ホプキンス大学傷害予防/政策センターの「傷害予防の理論と実践」コースに参加。05年労働科学研究所主任研究員、07年10月より副所長、12年6月から働く人の多様性研究G。医療・介護労働者の産業保健に関する研究、アジア・アフリカ地域における職場改善手法（JICAによる5S/KAIZEN/TQM、ILO/WHOによるPAOTの展開等）に関する研究等・実務に参加。フィットテスト研究会・代表、日本産業衛生学会医療機関における産業保健研究会・世話人代表、職業感染制御研究会副代表/エピネット日本版サーベイランスワーキンググループ・代表等。

国際保健、産業保健(人間工学、職業感染症学、産業精神保健学等)を専門分野とする。